

関東農政局「ディスカバー農山漁村の宝」選定地区取組概要

⑫ 農事組合法人 伊豆月ヶ瀬梅組合 【静岡県伊豆市】

～目指せ 梅一杯 夢一杯の 梅の里～

【取組の概要】

昭和47年、農事組合法人を設立し、梅栽培を開始。生梅販売のほか加工品として製造・販売してきたが、故郷存続に向けて、生産梅林を観光資源としても活用できるよう転換。

収穫した梅は、生梅での販売とともに、梅干し、梅シロップ、梅ジャムに加工し販売。梅の収穫量増大のため、休耕田への新植も開始。組合の収益拡大が図られるとともに、雇用拡大も期待。

採果用の白梅に加え、紅梅、しだれ梅等を植栽し、生産梅林を観光梅林として魅力拡大を図り、梅まつりを開催。無名だった梅林が大勢の観光客を呼び込むまでになり、経済効果にも寄与。

また、小中学校と連携し、梅もぎ体験、俳句大会、卒業記念樹の場を提供するなど青少年健全育成にも貢献。

「伊豆一番の梅公園づくり」(100万人の観光誘客達成の夢)の思いを大事に、組合経営の収益拡大、観光誘客増大による地域経済への貢献、さらには、熱海梅園、修善寺梅林との連携による伊豆の梅まつりの一層の活性化を目指している。

【活動の様子】



満開の梅林



梅まつりイベント



観光梅狩り



土用干しの梅干し



梅カップ参加チームの記念植樹



梅まつり期間中の農産物等販売所